【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】令和3年1月21日(2021.1.21)

【公表番号】特表2020-509993(P2020-509993A)
【公表日】令和2年4月2日(2020.4.2)
【年通号数】公開・登録公報2020-013
【出願番号】特願2019-531416(P2019-531416)
【国際特許分類】
Ｃ０７Ｃ　37/72　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　8/9789　(2017.01)
Ａ６１Ｋ　8/00　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　36/87　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　31/10　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　31/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　17/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　17/10　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　39/06　(2006.01)
Ａ２３Ｌ　33/105　(2016.01)
Ａ０１Ｐ　3/00　(2006.01)
Ａ０１Ｎ　65/00　(2009.01)
Ｂ０１Ｄ　11/02　(2006.01)
Ａ０１Ｎ　65/34　(2009.01)
Ｃ０７Ｃ　39/21　(2006.01)
Ｃ０７Ｄ　307/80　(2006.01)
Ｃ０７Ｄ　493/06　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０７Ｃ　37/72
Ａ６１Ｋ　8/9789
Ａ６１Ｋ　8/00
Ａ６１Ｋ　36/87
Ａ６１Ｐ　31/10
Ａ６１Ｐ　31/00
Ａ６１Ｐ　17/00　１０１
Ａ６１Ｐ　17/10
Ａ６１Ｐ　39/06
Ａ２３Ｌ　33/105
Ａ０１Ｐ　3/00
Ａ０１Ｎ　65/00　Ａ
Ｂ０１Ｄ　11/02　１０３
Ａ０１Ｎ　65/34
Ｃ０７Ｃ　39/21
Ｃ０７Ｄ　307/80
Ｃ０７Ｄ　493/06

【手続補正書】
【提出日】令和2年12月4日(2020.12.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
乾燥植物バイオマスのポリフェノールに富む抽出物の調製方法であって、
（ａ）前記乾燥バイオマスを水性溶媒と接触させることによって前記乾燥バイオマスを抽出する工程と、（ｂ）ポリフェノールに富む水相を回収する工程とを含み、前記抽出工程（ａ）において、前記植物バイオマス／水性溶媒混合物が、
（ｉ）９１５ＭＨｚ～２８ＧＨｚの範囲の周波数の電磁波と、
（ｉｉ）前記混合物の撹拌、および／または
（ｉｉｉ）５，０００～９５，０００Ｐａ（５０～９５０ｍｂａｒ）の圧力と
によって同時にまたは連続的に処理されることを特徴とする、方法。
【請求項２】
前記水性溶媒が、水、または１０～７０体積％のエタノールを含むエタノール／水混合物である、請求項１に記載の方法。
【請求項３】
前記水性溶媒が、３０～５０％のエタノールを含むエタノール／水混合物である、請求項２に記載の方法。
【請求項４】
前記乾燥植物バイオマスの水性溶媒に対する質量比が、１／５～１／３０である、請求項１～３のいずれか一項に記載の方法。
【請求項５】
前記乾燥植物バイオマスの水性溶媒に対する質量比が、１／１０～１／２０である、請求項４に記載の方法。
【請求項６】
前記電磁波の周波数が９１５ＭＨｚ～２．４５ＧＨｚの範囲である、請求項１～３のいずれか一項に記載の方法。
【請求項７】
前記電磁波の出力が、３００Ｗ～１００ｋＷの範囲である、請求項１～６のいずれか一項に記載の方法。
【請求項８】
前記電磁波の出力が、１～７５ｋＷの範囲である、請求項７に記載の方法。
【請求項９】
前記抽出工程（ａ）が、その周波数が２５ｋＨｚ～１ＭＨｚの範囲である超音波処理（ｉｖ）をさらに含んでなる、請求項１～８のいずれか一項に記載の方法。
【請求項１０】
前記超音波出力が２００～４０００Ｗの範囲である、請求項９に記載の方法。
【請求項１１】
前記植物バイオマスが、ブドウ種のブドウの苗条からなるものである、請求項１～１０のいずれか一項に記載の方法。
【請求項１２】
前記水性溶媒を部分的または全体的に蒸発させることによって前記ポリフェノールを濃縮する工程（ｃ）を含んでなる、請求項１～１１のいずれか一項に記載の方法。
【請求項１３】
前記濃縮（ｃ）が前記回収された水相を凍結乾燥することによって達成される、請求項１２に記載の方法。
【請求項１４】
請求項１～１３のいずれか一項に記載の方法によって得られる、ポリフェノールに富む抽出物。
【請求項１５】

請求項１４に記載の抽出物およびその使用に適した担体を含んでなる、組成物。
【請求項１６】
植物の真菌感染症の予防および治療のための、請求項１４に記載の抽出物または請求項１５に記載の組成物の使用。
【請求項１７】
収穫後の果物および植物の真菌感染症の予防および治療のための、請求項１４に記載の抽出物または請求項１５に記載の組成物の使用。
【請求項１８】
植物における酸化ストレスの予防および／または治療のための、請求項１４に記載の抽出物または請求項１５に記載の組成物の使用。
【請求項１９】
化粧用組成物または食品組成物における抗酸化剤としての、請求項１４に記載の抽出物または請求項１５に記載の組成物の使用。
【請求項２０】
治療において使用するための、請求項１４に記載の抽出物または請求項１５に記載の組成物。
【請求項２１】
皮膚感染症の治療において使用するための、請求項１４に記載の抽出物または請求項１５に記載の組成物。
【請求項２２】
前記皮膚感染症がざ瘡である、請求項２１に記載の使用のための、請求項１４に記載の抽出物または請求項１５に記載の組成物。
【請求項２３】
ヒトまたは動物における酸化ストレスの治療において使用するための、請求項１４に記載の抽出物または請求項１５に記載の組成物。